

特別警報発令！！

名古屋運輸区の車掌の皆さん！！

ただちに命を守る行動をとってください！！

名古屋運輸区では、9月5日から車掌が、運転士研修に入所することによって、9月の車掌の要員は、予備は0、車掌はマイナス2となりました。

その結果、9月の車掌の交番は、車掌が不足しているにも関わらず、所定行路以外に、臨時の行路（特急しなの号の増結）や出張などによって、休日労働前提の交番でまわっています。

9月からは、駅からとプロ大が、車掌として来ましたが、見習い期間は、13行路も必要となることによって、車掌が、いくら年休を申し込んでも入りません。

その結果、9月の勤務は、休みが5日しかない車掌もいますし、4月からも一度も年休が入らない車掌もいます。

ひどい車掌になるとまだ年休が35以上残っている車掌もいます。

名古屋運輸区の多くの車掌から休みが出ない事に対して不平・不満が鬱積しています。

JR東海労は、この非常事態について、会社に対して、「抗議と改善要求」を行いました。

それに対して、会社は、「現状は承知している。他区からの転勤などでぎりぎりやっている」と全く無責任な回答でした。

この事は、名古屋運輸区の車掌の要員が不足することを予測していたにも関わらず、何ら手だてをしてこなかった会社の責任放棄であり、確信犯です。

9月は、朝夕、涼しくなったとはいえ、まだまだ残暑は続きます。

事故を起こさないためにも、万全な体調を維持するためにも、乗務員である車掌は、十分な休養が不可欠です。

私たちJR東海労は、会社に要求します！！

年間20日間の年休を取得できる要員を確保すべきだ！！